

祝いの秋

百歳おめでとう 平野リエさん

有田にお住まいの平野リエさんが百歳を迎え9月21日、自宅に伊藤市長が訪問して祝い状と記念品を贈りました。

平野さんは明治43年9月21日、江釣子村滑田で生まれ、18歳で故友吉さんと結婚。子ども4人、孫11人、ひ孫17人に恵まれました。昔はよく裂き織りをしていたそうで、今でも時々針仕事で、自分で糸を通すそうです。「家族に支えられ、ありがたい。家族に囲まれているのが一番の楽しみ」と感謝していました。

伊藤市長(前列中央)とますます元氣な平野さん(前列右)とその家族の人たち



多くの客が並び、スタッフ一丸となって北上コロッケを発信

挑戦の秋

北上コロッケ全国へ発信

北上調理師会(新田直美会長)が北上の名物をと考案、開発して5年、北上コロッケは9月18日・19日、神奈川県厚木市で開かれた「B-1グランプリ in AT SUG I」(愛Bリーグ、同実行委員会主催)に県内で初めて出店しました。用意した1万個の北上コロッケは完売、全国の舞台で大いに北上をアピールしました。スタッフとしても参加した同会名産開発部の岡島親吾部長は「いい勉強になった。まちおこしの一つのきっかけになれば」と期待を寄せていました。

支援の秋

自治宝くじは地域をバックアップ

「二子の里 いものこまつり2010」(二子町振興協議会主催)は9月26日、二子小学校校庭を主会場に行われ、たくさんの人でにぎわいました。

会場の各所に真新しいテントが配置されていました。これは、古くなったテントを地区だけで更新することが難しかったため、本年度自治宝くじの助成を受け、13張りを購入したものです。

今後もイベントなどさまざまな場面で活用され、地域活動に一役買うこととなります。

まつりの川下り船着き場に設置された新しいテント



買い求めようとする来場者の行列でごったがえす北上コロッケブース前

食欲の秋

いわてB級ご当地グルメinきたかみ

いわてB級ご当地グルメinきたかみ(同実行委員会主催)は9月25日・26日、本通りを会場に開かれました。県内外から20店舗が出店し、約3万人(同実行委員会発表)が来場。各店舗には長い行列ができ、食欲の秋を楽しみました。また、十字路商店街では、「鬼のへそ祭り2010」(同実行委員会主催)も併催されました。

家族4人で訪れた青木毅一さん(孫屋敷)は「北上コロッケだけは食べようと思ってきた。とろっとしてとてもおいしい」と食欲の秋を堪能していました。

紅葉の秋 夏油高原紅葉まつり

毎年恒例の夏油高原紅葉まつり(同実行委員会主催)は9日～11日、夏油高原スキー場で開かれました。スタンプラリー、ゴンドラ遊覧、産直、幼稚園児による鬼剣舞など、大人から子どもまで楽しめるイベントが行われ、たくさんの人で賑わいました。

今年は、夏が長かったせいもあり、本格的な紅葉はまだでしたが、山頂付近はすでに色づき始めており、3日間で約2万1千人(同実行委員会発表)が、秋の夏油高原を満喫しました。

たくさんの方の来場者でにぎわう夏油高原紅葉まつり会場



一位はどっちだ！(小学校4年男子の部)

運動の秋

第20回北上市民ロードレース大会

第20回北上市民ロードレース大会(市など主催)は10日、北上総合運動公園で行われ、小学生から一般まで535人が各クラスに分かれ、健脚を競いました。当日は、薄曇りのまずまずのコンディションながら、好記録が続出。日ごろの練習の成果が発揮されました。

小学校1年女子の部に出場した小田島理子さん(二子小学校)は、「試走では歩いてしまったけど、本番は最後まで走り切った。つらかったけど、とても楽しかった。来年も頑張る」と意欲を見せていました。

収穫の秋

足踏み脱穀機でもち米の収穫

「集まれ！民俗村田んぼファミリー」は3日、みちのく民俗村で行われました。3家族12人が足踏み脱穀機や唐箕による昔ながらの脱穀作業を体験。民俗村が村にある田んぼを利用して、5回の体験を企画、田植、草取り、稲刈りに続き行ったものです。12月には、収穫祭を予定しています。

親子で参加した近藤直弥くん(南小2年)は「足で踏みながら、稲を少しずつ回すのが難しい」と悪戦苦闘しながらも笑顔で作業していました。

刈り取った稲を脱穀する近藤さん親子



くろいわ産地直売所で開店前の値札張りなどの体験を行う岩大生

交流の秋

岩大生が農林業を体験

岩手大学農学部(農学)の学生5人は9月28日・29日、黒岩地区を訪れ、農林業や地域づくりの現場を体験、地元農家に民泊し、地域の人たちと交流しました。

これは、地区で組織する「あすの黒岩を築く協議会」(及川純一会長)が同大学地域連携推進センターに働きかけ実現。大雨で間伐体験はできなかったものの、産直施設での開店準備などを体験しました。参加した千葉里実さん(同大4年)は「いろんな話が聞けて、大変楽しかった。また来たい」と喜んでいました。